



瑞中だより

学校だより第5号
令和5年7月19日
瑞穂町立瑞穂中学校
〒190-1211 瑞穂町石畑 1961-1
TEL 042-557-0070



充実した夏休みに向けて

校長 池谷 芳彦

いよいよ明後日から夏休みです。

最近の天気予報でよく耳にする「線状降水帯」とは、次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水をとまなう雨域のことだそうです。2000年頃につくられた言葉ですが、頻繁に使われるようになったのは、2014年8月の広島県の大雨、「平成26年8月豪雨」以降だそうです。一昨年（2021年）の6月からは、気象庁で、線状降水帯が発生していることをお知らせする「顕著な大雨に関する情報」を発表するようになりました。あらかじめ、どの地域に「線状降水帯」が発生するか分かれば、対策も取りやすいのですが、その予測はまだまだ難しいようです。今年も、「線状降水帯」による記録的な豪雨は、広範囲に土砂崩れや河川の氾濫など甚大な被害をもたらしています。被災地では復旧への道のりを見通せない厳しい状況が続いています。

2016年（平成28年）8月の台風9号の被害を思い出します。その時の大雨で、瑞穂中では、瑞穂農芸高校の正門から校舎に通じる通路が陥没し、土砂が中庭に流れ込みました。コンクリートの擁壁に大きな亀裂が生じ、駐輪場近くの斜面は崩れ、町の防災倉庫であるコンテナは流され、一時は通路を塞ぐ状態でした。学校通り（町道2号線）は、土砂崩れとそれに伴い折れた電柱が道路を塞ぎ、中央体育館前から高根下まで通行止めとなりました。瑞穂町で人的被害が無かったことは不幸中の幸いでしたが、大雨の怖さを思い知らされました。ですから、線状降水帯や台風などがもたらす豪雨は他人事ではありません。

「天災は忘れた頃にやってくる」「備えあれば憂い無し」先人の知恵に学ぶことはもちろん、正しい情報を得て、あらゆる災害から身を守る術を身に付けてほしいと思います。若い中学生のみなさんは、自然災害等でけって命を失ってはいけません。生きている以上、100%の安全は理想であって、何かしらの危険はつきまといます。ただし、リスクは減らせるはずで、科学がまだ発達していなかった大昔から、私たちの祖先は、様々な工夫をして生き延びてきました。私たちが今ここに存在しているのは、両親をはじめそれぞれの祖父母はもちろん祖先がいたからです。その意味では、自分の命は自分のものだけれど自分だけのものでもないと言えます。その一番大切な命を輝かせ、将来幸せになるために必要なものの一つが勉強ではないでしょうか。今、私たちが手にしている科学や知識は、大昔の祖先からすれば、まるで魔法かもしれません。気象学や天気予報が無かった時代、自然の変化は今以上の驚異だったはずで、

さて、明後日からの夏休みは、8月25日の始業式まで35日間あり、時間にすると840時間あります。果たして、そのうちの何時間を有意義に過ごせるでしょうか。教科書や学校での学習だけが勉強ではありません。教科を越えた様々な勉強に取り組めるはずで、夏休みは、自分なりの目標を立て、それを実行できるチャンスです。

また、勉強が苦手で、どうしてもすぐに意欲が沸かない人は、まずは教科書を読んでみましょう。すらすらと読めなかったり、意味が分からなかったりしたら、読めるまで繰り返したり、意味などを調べてみたりすることで勉強が始まります。少しずつ努力を続け、その時間を少しずつ長くしていきましょう。一番強いのは、続ける努力を惜しまない人かもしれません。継続は力なり。夏休み中、限りある時間を有意義に過ごし、心身ともに大きく成長してくれることを期待しています。

フォトギャラリー 7月

7/4(火)【生徒会主催 他学年交流】

生徒会主催の「他学年交流会」が実施され、多数の参加者で盛り上がりを見せました。会の目的である、自分とは違う学年の先輩や後輩とともに楽しく活動することができました。



7/11(火)【地震を想定した避難訓練】

暑い中での避難訓練でしたが、落ち着いて迅速に避難することができました。



7/12(水)【社会を明るくする運動】

社会を明るくする運動では、若者が陥りやすい闇バイトやオーバードーズからの薬物依存に関する劇を劇団の方に分かりやすく演じてもらいました。



7/14(金)【PTA 高校説明会】

PTA主催の高校説明会が実施され、3年生も真剣に高校の先生の話聞いていました。



2学期のおもな予定 8月&9月

8月
25日(金) 始業式
28日(月) 給食始

9月
11日(月)~15日(金) 職場体験(2年)
11日(月)~13日(水) 修学旅行(3年)
22日(金) マラソン大会試走(7組)
25日(月)・26日(火) 2学期中間試験
26日(火) 生徒会役員選挙

夏のマスクは、**熱中症**に気をつけて!

マスクは重要な感染症対策のひとつですが、気温や湿度が高くなると、マスクをつけていることで熱中症になるおそれが高まります。夏場は、マスクを着用する必要がない場面では、外すことをおすすめします。

	身体的距離が確保できる		身体的距離が確保できない	
	屋内	屋外	屋内	屋外
会話をする	マスクの着用がおすすめ	マスクを着用する必要はない	マスクの着用がおすすめ	マスクの着用がおすすめ
会話をほとんどしない	マスクを着用する必要はない	マスクを着用する必要はない	マスクの着用がおすすめ	マスクを着用する必要はない

● 屋内とは、建物の中や地下道、公共交通機関の中など。
● 学校では、屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め、体育館の授業や、部活動で運動しているときは、マスクをする必要はありません。
● お年寄りや会ったときや、病院に行くときなどは、マスクをつけましょう。

マスクを着用する必要がない場面の一例

ランニングなど人と離れて行う運動
合唱です、楽器をこたった発声練習
屋内で数人で行う読書 など

マスクを着用する場面の一例

部会や部活や再会する場面
部会や夏合宿などの利用時
自車の他の乗客との会話 など

7月21日(金)~8月24日(木)の夏季休業期間中
学校からの連絡は、
原則としてマ・メールで行います。